

地域の顔育成研修

～ステップアップ研修～



地域を元気にするための手段の一つとして移住者の受入れについて学びませんか

日時

令和元年
8/9(金)
13:00～16:00

対象者

自治会長、学生など、移住者のサポートをすることで地域を元気にしたい方ならどなたでも

(先着50名様 受講料無料)

会場

群馬県社会福祉総合センター BO1会議室
前橋市新前橋町13-12

こんな方にオススメです！

- ・ 移住希望者への支援方法や支援事例を知って、支援に向けた取り組みをしてみたい
- ・ 地域として移住者を受入れるため体制整備に取り組みたい
- ・ 移住支援者同士の繋がりを作りたい など

※始めて研修に参加される方、基礎研修を受講した方、幅広く受講できる内容となっております。

プログラム(予定)

- 13:00 開会
- 13:05～14:30 講演「地域おこし協力隊が集落の教科書をつくって見たら(仮題)」
講師: 任田 和真 氏(七尾市高階地区地域おこし協力隊/たかしな地区活性化協議会)
- ～休憩～
- 14:40～16:00 ワークショップ「移住希望者に響く情報発信のポイント」
講師: 宗像真弓 氏(認定NPO法人ふるさと回帰支援センター相談部門マネージャー)

～はじめまして、暮らしまして、ぐんまな日々～

群馬県では、人口減少対策として県内の市町村とともに移住促進に取り組んでいます。移住の成功には、何よりも地域での受入体制が大切です。

「地域の顔育成研修」2回目となる「ステップアップ研修」では、移住者が知りたい情報を効果的に伝える方法と、移住者を受け入れ住みよい地域を作るために、住民と移住者がどのような点に気をつければよいかについて、ワークショップも活用しながら実践的に学びます。

～講師の紹介～



任田 和真(とうだ かずま)さん

1991年石川県小松市生まれ。教員であった両親に憧れ、保健体育科教員を目指し日本大学文理学部体育学科へ進学。大学卒業後、国際NGOピースポート地球一周の船旅に参加し3年間で地球2周、約50カ国を旅しながら国際協力事業に尽力。結婚を機に子育ての理想の地として「能登半島七尾」と出会い2018年4月に東京都から夫婦で移住。現在は地域おこし協力隊として七尾市高階地区にて活動し、2018年度末に「良いことも、そうでないことも、ちゃんと伝えたい」というコピーの元、集落のルールやしきたりをまとめた移住希望者向けの情報誌「集落の教科書」を発行し、編集長を務めた。



宗像 真弓(むなかた まゆみ)さん

不動産業界で約10年間勤務、結婚後、夫が不動産業に勤務している為、事務などの手伝いをする。転勤により、富山県で田舎暮らしを体験。その後、知人を通じてふるさと回帰支援センターを知り、和歌山県みなべ町出身であること、富山県での田舎暮らしを体験し、地方暮らしに興味があることから、2008年秋勤務することとなり現在に至る。相談業務をするにあたり、地方出身・田舎暮らしの経験があることは大変役に立っている。

☆申込み・お問い合わせ先

群馬県企画部地域政策課 過疎・地域企画係

メール gunmagurashi@pref.gunma.lg.jp

TEL 027-226-2371

メール又はお電話にて次の項目をお知らせください

- ①住所(団体の場合は所在地)
- ②氏名(団体の場合は団体名、出席者氏名)
- ③連絡先(電話番号またはメールアドレス)



申し込みフォーム

☆会場

群馬県社会福祉総合センター B01会議室
(前橋市新前橋町13-12) JR新前橋駅南口から徒歩5分

